



山形南高(山形二中、三高) 東京同窓会報

発行人 平成30年11月4日発行
千代田区平河町2-6-3
山形県東京事務所内
山南東京同窓会事務局

編集人代表 毛利 昭
土田 和男



「南高健児の活躍を喜ぶ」



山形南高東京同窓会
会長 毛利 昭

今年是全国高等学校野球選手権が発足して100年目に当たり、それを記念した大会であったとの事である。その為、出場校数も多めに設定され56校が甲子園球場で熱き戦いを演じてくれた。当然、甲子園出場を目指した地区大会も盛り上がりを見せ、好試合が続出したとの報がある。山形大会では母校の南高がベスト4まで駒を進め「38年ぶり6回目の甲子園出場か」と関係者を慌てさせてくれた。快進撃を目の当たりにし「出場ともなれば、東京同窓会としてパスを仕立てて甲子園に行こう」などの声も出る程の興奮を与えてくれた。

現役生の活躍と言えば2年ぶり二回目のラグビー全国選手権出場も我々を喜ばせてくれた出来事であると共に、開会式での選手宣誓の大役を担ったのも、キャプテンの伊藤君であったと言う事も喜びを倍化させてくれた。

卒業生も負けてはおらず、今年の箱根駅伝で三連覇を果たした青山学院のアンカーが65回生の橋間貴弥君であり、興奮に明け暮れた平昌オリンピックに、南高生としては初となる選手が出場したのも今年である。スノーボードアルペンの日本代表が55回生の斯波正樹君である。惜しくも入賞は逃したが、次のオリンピックに向けて精進している。同時に、スノーボード競技の監督として采配を振るったのも37回生の岡崎靖氏である。前回のソチオリンピック後に生じた不祥事によるスノーボードに対するイメージダウンを回復させたのも氏の指導力によるものである。

「文武両道」を校是とする母校にあって忘れてならないのは、大学への進学実績の躍進である。国公立大に限ってであるが東北大15名(含過卒4名)、新潟大・埼玉大へは共に17

名の実績を上げ、地元の山形大学へは71名(含過卒8名)もの入学者を出し、山形大学入学者数ナンバーワンの記録を伸ばし続けている。この中には山形大の医学部への入学者3名も含まれており、今後への期待が膨らんでくる。

今春の卒業生総数は279名との事であるが、この中の164名(過卒26名を加えれば190名)が国公立大学へ合格している頑張りに対し、心からの祝福の言葉を送りたい。ふるさと山形を離れ異郷の地で幾星霜を経た者にとつてみれば、母校・山形南高の文武両道における活躍は精神的な糧とも言えるものであり、ふるさととの絆を深める証ともなっている。高校生活僅か3年と言う短期間の在籍でしかなく、人生におけるほんの一時の縁ではあるが、多感な時期を過ごした学び舎や友への想いは今後とも共有したいと思っっている。感謝。

※ちなみに過去5回の甲子園出場年は(昭和27年、32年、33年、49年、55年)である。

祝

平成30年度

山形南高等学校
東京同窓会総会

山形南高等学校同窓会役員

特別顧問 千歳 貞治郎 (二高2回卒)

佐藤 充彦 (南高6回卒)

会長 荒井 満 (南高16回卒)

副会長 吉田 福平 (南高22回卒)

高橋 巨 (南高26回卒)

吉村 和文 (南高28回卒)

鈴木 吉彦 (南高30回卒)

武田 良和 (南高32回卒)

與田 貴博 (南高44回卒)

監事 板垣 隆 (南高9回卒)

川合 賢助 (南高12回卒)

坂部 登 (南高18回卒)

(山南文化部OB会会長)

(山南文化部OB会会長)

南高が 喜寿を迎えました



山形南高同窓会
会長 荒井 満

10月2日、南高記念講堂において「山形県立山形南高等学校創立77周年記念式典」が厳かに挙行されました。

今、南高は普段は服装が自由になっていますが、入学式・卒業式そして創立記念式などの学校の式典の日は諸先輩と同輩の我々と同じ黒の詰め入りの学生服に襟元には羽ペンの校章のバッチとなっています。

檀上から見渡すと黒一色の南高生が会場を埋め尽くす光景は凛々しく又大変懐かしさを感じました。なかなかそういった光景は見るのができなくなってきたとおり同窓会会員の皆さんにもどうにかしてご覧いただけないものかな?と思いました。

式典では同総会を代表して祝辞を述べさせていただきました。77年は人間では喜寿という長寿をお祝いする歳であり、生徒諸君の祖父母ぐらの年の年数を経て歴史ある高校であることを認識していただきたいと語りかけました。そして生徒に家族三代で南高という人はいますかと問いましたら数人が手を上げました。

親子二代は数十人いました。歴史の長さを実感しました。

昭和38年入学の自分の南高時代は南高より先に開校された高校、特に緑町にある某高校に早く追いつけ早く追い越せ、文武両方とも負けるなと先生からハッパをかけられ日々挑戦することを教え込まれた三年間でもありましたが、77年たった現在でも挑戦者という精神をもって勉強・部活・生徒会活動と励んでいただき南高の新たな歴史を作るとともに伝統をさらに高めてほしいと激励してまいりました。そのためには、同窓会とスポーツ・文化部両OB会はいろいろな場面で支援していくことを約束してきました。

必ずや優秀な後輩諸君は南高の名をさらに高めてくれることを確信しました。

東京支部の皆様にはなかなか情報が伝わりにくいとは思いますが、是非母校発展のため、また同窓会発展のため引き続きご支援いただければ幸いです。

結びに、山形南高同窓会東京支部のますますのご発展と会員の皆様のご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。



校章

同窓会の絆



山形南高等学校
校長 大沼 敏美

東京同窓会の皆様には、日頃より本校教育に對しまして、多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

同窓会というものは、地縁・血縁の共同体ではありませんし、会社のような利益共同体でもありません。あえて言えば、文化共同体・・・人生に幅ができて豊かになるつながりということになるでしょうか。

『The Strength of Weak Ties (弱い絆の強さ)』というアメリカの社会学者マーク・グラノヴェッターが発表した社会的ネットワークに関する理論があります。この理論を知ったのは随分前のことですが、あらためて調べ直してみますと一九七三年に発表されたものでした。グラノヴェッターによれば、新規性の高い価値ある情報は、自分の家族や親友、職場の仲間といった社会的つながりが強い人々《強い絆》よりも、ちよつとした知り合いなど社会的なつながりが弱い人々《弱い絆》からもたらされる方が重要な情報になり得るというものです。弱いつながりは、強いネッ

トワーク同士をつなげるブリッジとして働き、情報が広く伝播する上で大切な役割を果たすらしく、その一方、強いつながりによって構成されるネットワークは、同質で類似性が高く、そのネットワークは孤立しやすいものになるのだそうです。したがって、就職先や転職先を探すときは、強いつながりに頼らず、友だちの友だちといったくらいの人を活用した方が上手くいくといった実証も得られているようです。

同窓会のつながりというのは、家族や友人、職場の同僚などに比べれば、日常的にはずっと弱いつながりであるわけですが、逆にこういってつながりを大切にすると、人生に幅ができて豊かになる、人生の転機のとときに優位に働くというわけです。同窓会の皆さんは、私が改めて話すまでもなく、まさにこのことを実感しているに違いありません。

さて、人口減少、人工知能の進化、そしてグローバル化といった急激な社会変化の中で、学校教育にも変革の波が押し寄せています。進化論を唱えたダーウィンは、「この世に生き残る生物は、力の強いものでも、賢いものでもなく、それは変化に対応できる生物だ。」という考えを示しました。変化することを怖れず、自立し、多様な人と協働しながら新しい価値を創造できる、しなやかで逞しい生徒を育てたいと考えておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連載シリーズ

「身近な薬用植物あれこれ」

その6

夏の疲れには 山形産ユウガオを食べて

南高12回卒 奥山 徹

夏の風物詩として登場する、アサガオ・ヒルガオ・ヨルガオはいずれもヒルガオ科の植物です。ところで夕方に可憐な白い花を咲かせ、アサガオに似た名前を持つ「ユウガオ(夕顔)」はウリ科の植物で、ヒョウタンなどの仲間です。今回の話題は、山形では馴染みの特産品「ユウガオ・夕顔」を取り上げます。



長井での特大の収穫品
ワイフの実家にて



大学近くのレストランで山形産ユウガオ料理を提供



J A信州うえだ
(インターネット借用)



長野県産連アピールでの
ポスターより

ユウガオは果実の形には細長くなるタイプと、丸みを帯びたものがあります。山形では長くなるタイプを好んで収穫し、お味噌汁の具や鳥のひき肉を加え、葛でとろみをつけた「あんかけ」や「ひすい煮」などで食を楽しみます。ユウガオは体を冷やし、整腸、自律神経失調症等に有効です。夏の暑い時期での食材としては最適です。また、ユウガオの役割として、スイカは連作を嫌いますし、直播よりは収

穫を早められることから、夕顔に接ぎ木をしております。一方、丸みを帯びた果実はひも状に割いて乾燥させた乾瓢(かんぴょう)造りに使われ、乾瓢は各種の食材として利用されます。乾瓢の国内生産高の一位は栃木県です。下



1962年10月20日・朝日新聞

の写真は、テレビ(金スマSP)で紹介された丸形から干瓢を作っている様子が放映されましたので、ここで借用させていただきます。

夕顔の名前は、夕方に花を咲かせ、翌日の午前中には枯れてしまうことに由来しており、黄昏草(たそがれぐさ)の別名もあります。英名は「bottle gourd」ですが、bottleは瓢箪(ひょうたん)の仲間で苦味が少なく食用になったものを意味し、gourdはウリ科の植物全般を指します。ユウ

次に、この原稿を書いている最中に金沢・兼六園を訪問する機会がありました。瓢池の東岸にある翠滝と相對して建つ数寄をこらした茶席「夕顔亭」があります。11代藩主治脩公は、源氏物語に思いを馳せての滝見御亭かと、秋の一時に歴史のロマンを感じました。夕顔の花言葉は、「はかない恋」、「夜の思い出」、「魅惑の人」等のようです。源氏物語に登場する「夕顔」という女性との関わりがあ

ガオは北アフリカ原産で平安時代に中国から伝搬してきたようです。『源氏物語』の第一段 源氏が五条の大式乳母を見舞うところがあり、夕顔の花に関する歌が見られます。心あてに
それかとぞ見る白露の花
光そへたる夕顔の花
寄りてこそ
それかとも見めたそかれに
見つる花の夕顔



兼六園の夕顔亭

るのでしょうか? 最後に、アサガオを話題にしておきます。アサガオ(朝顔)は品種も多種多様で、見事な色彩を持つ花を咲かせることから、もっぱら観賞用として広く愛用されております。しかし、日本にもたらされた奈良朝時代は薬草として使われていたようです。アサガオの種子には樹脂配糖体が多く含まれていることから、「牽牛子(けんごし)」と称し下剤(緩下薬、量によっては峻下薬)として使われる生薬です。とところで、奈良時代の歌人・山上憶良が詠んだ『万葉集』(巻8第1538番)の「秋の七草」の中にアサガオが登場しております。秋の野に咲きたる花を指(および)折り、かき数おれば、おばな(尾花)、くずばな(葛花)、なでしこ(撫子)の花、おみなえし(女郎花)またふじばかま(藤袴)、あさがお(朝顔)の花。しかし、この歌が詠まれた時代背景等々から、アサガオではなくキキヨウ(桔梗)であるとされており、(明治薬科大学 理事長・名誉教授)

南高の3年間



南高32回卒
高橋 達志

私が南高に在籍していたのは1979年4月から82年3月まで。約40年も前のことです。この度、寄稿する機会をいただきましたが、振り返っても私には人に語れるようなエピソードがあったとは思えません。高校では一体何をやっていましたでしょうか？脳内の記憶ノートは、鉛筆書きの文字のように擦れて読みにくくなっております。そこで、あの頃大好きだった音楽を手がかりに、南高の3年間を思い出してみようと思います。

1年生 ♪孤独のメッセージ

中学生時代は3年間バスケット・ボール部でしたが、南高では誘われても何故か入部せず、1年生の終わりまで「帰宅部」所属となりました。何か新しいことをやりたかったのかもしませんが、やる気と勇気が足りなかったのでしょうか。ただただブラブラと時間を浪費していた記憶があります。学校帰りに向かったのは図書館と本屋とレコード店です。小荷駄町の山形市立図書館は小奇麗でとても居心地がよく、山形駅前

にあった「蔵王書店」はマンガの宝庫で、何時間も立ち読みし続けたものです。「蔵王書店」の近くにあったレコード店は、言わば私の聖地でした。山形ではめずらしく輸入盤が豊富で、店員のお兄さんが瀟洒を語ってくれたりするお店でした。



1979年、私が熱狂的に聴いていたのはポリス The Police のセカンドアルバム『孤独のメッセージ』

です。【無人島に流れつき、救助を求めて手紙を瓶に入れ海に流す。ある朝、島に無数の瓶が流れ着き、中を見ると全て救助を求めるメッセージだった。】という歌詞です。まだ15歳で実体験など何もないわけですが、当時の私は「孤独」という言葉にうなされるような面倒臭いガキだったことを思い出しました。しかし、同じように毎日帰宅する仲間が出来た私は、彼らが実は新聞部だと知り、誘われるままに中途入部するのです。

2年生 ♪ラジオ・スターの悲劇

新聞部の部室は教室と教室の間の隙間にありました。なぜか常備してあるコーヒーを淹れ、まったりと過ごす時間がお気に入りでした。当時はウォークマンが発売され、松田聖子がデビューし、山口百恵と王貞治が引退するという時期でした。バグ



ルスの『ラジオ・スターの悲劇』の悲劇 Video Killed the Radio Star』は、時代の変革期を見事に活写したキャッチーな曲です。あらためて聴くと YouTube やサブスクリプションの登場までイメージさせる歌詞なのですが、16歳の私はそんなことに気付きもせず、ただ単純に気に入っていました。

新聞部員としての活動も開始します。1980年は、南高野球部が夏の甲子園(第62回大会)へ出場を果たした、今のところ最後の年です。県予選から全試合取材・応援し、バスで長時間揺られて甲子園へ駆けつけ、みんなで声を嗚らして応援したことは良い思い出です。尚、この大会の決勝は荒木大輔(早稲田実業)対 愛甲猛(横浜高校)の豪華対決となり横浜の優勝で幕を閉じます。

3年生 ♪君は天然色

京都への修学旅行は2年生の秋に行われ、3年生になれば校内は大学受験一色となるはずですが。しかし、野球部の南東戦、クラスマッチ、マラソン大会、そして南高祭と続く恒例行事を満喫していました。悲しいかなガールフ

レンドはいいませんでした。高校生らしい毎日だったといえるでしょう。

前の2曲とは違い、今も聞き続けているこの年の曲が、大瀧詠一の『君は天然色』です。まともな恋愛経験が皆無だった高校3年生が聴いた『君は天然色』と、20代、30代...そして白髪も増えた悩み多き50代が聴く『君は天然色』は、それぞれ違うメッセージを投げ掛けてきます。そんな特別な1曲です。

南高3年間の思い出も、年を重ねる度に見え方が変わっていくものではなく、都合が悪い事を忘れ去るでもなく、たとえ恥ずかしい歴史であれ、ほんの些細な出来事であれ、あの日あの瞬間のかけがえのない記憶として自分の中にしっかりと留めて置こうと思えました。

南高の思い出の中に、キュートな女の子が唇を尖らせているシーンは存在しないのですが、無味乾燥でモノクロだと決め込んでいた記憶の断片が、同窓会で仲間と再会することで、輪郭が浮かび上がり、ストーリーが立体化し、鮮やかに彩られることなら、これからも起こるかもしれない。同窓会はそんなささやかな奇跡を起こす場所として、大事にしていこうと思っています。

やっぱり、特筆すべきことのない私の3年間でしたが、皆様がご自身の南高時代を思い浮かべる契機としていただければ幸いです。

食も仕事

南高40回卒 庄司 真人

私たちの学年は昭和に入学し、平成に卒業した世代でした。センター入試が始まったのが3年生の時。文科省の資料(学制百二十年史)を確認するとセンター入試導入が決まったのが昭和六三年と高校一年生のときと、もうすぐ始まる新試験と比べると早く導入されたように思われます。

平成もセンター入試もまもなく終わるといふことで時代の流れを感じているところです。

私は南高を卒業後、明治大学商学部、明治大学大学院に進んだあと、平成十一年より東京都杉並区にあり、ます高千穂大学(当時は高千穂商科大学)に勤めております。

「高千穂」というと宮崎の大学と勘違いされるのですが、京王井の頭線沿いにある静閑な住宅街の中にあります。大学の隣には、大宮八幡宮があり、東京の中でも自然が多いのでリラックスできる空間の中で仕事をしております。

さて、「若いのが書け」ということで先輩方から原稿依頼をいただきました。何を書いてよいのかさっぱり見当もつかないのですが、自己紹介もかねて私が取り組んでおります仕事について書かせていただければ

と存じます。

自身の専門は商学(小学ではありません)の中でもマーケティングです。となると売れるか売れないかということに関心があるように見えるのですが、自身はもつとマクロ的な観点での研究をしております。10年程前から「サービス・ドミナント・ロジック」という取引の範囲を超えた範囲で市場のメカニズムを研究している(という)と難しそうです。が、売買には赤の他人も関係することの研究)ところです。

この研究をするようになってから海外で報告する機会も増え、最近では二年に一度イタリアのナポリで行われるフォーラムに参加しています。

開放的なイタリアの気候とイタリア人に魅了されて、自分自身のよい刺激になっております。

これだけグローバル化が進み、海外の情報はずいぶん手に入るといふ時代になっておりますが、振る舞いや考え方の違いはなかなかわからないものです。



学会でのランチ

私が一番驚いたのはネットワーキングでした。分野によって違うのだと思うのですが、日本の学会では参加費が1万円程度ですが、海外の学会では8万円強。

金額の中にはランチやウェルカムパーティーなどの料金が含まれています。特に若手の研究者は、ウェルカムパーティーに積極的に参加しています。ウェルカムパーティーに出てくる食事は簡素でして、飲み物と軽食程度ですから食以上の目的があります。

それは自分の発表を売り込んでいくんですね。確かに研究は知ってもらうことがすべてですが、欧米の若手研究者のバイタリティには感心させられます。

そしてそこから共同研究をしたりするなどネットワーキングとして機能しています。



イタリアでの発表の様子

「飲みニケーション」などと我が国で言われていることは若干異なりますが、食をとにもするのにも重要なこととして捉えられているようです。



海を見ながらのネットワーキング

私自身は恥ずかしがり屋なので、あまり積極的に声をかけることはすくないのですが、そんな文化の違いを楽しみながら、世の中に貢献する研究ができればと考えています。



拙訳の書籍

ぐるっと東北

鷹山の名言 座右銘に

明治薬科大理事長 奥山 徹さん =1961年度卒



奥山 徹さん 1944年、東根市生まれ。67年に明治薬科大薬学卒業、75年に東北大大学院修了後薬学博士取得。明治薬科大で80年より生薬学(天然薬物学)教授、2009年名誉教授、15年に理事長に就任。

「母校をたずねる」 奥山 徹さん 1961年度卒業生。明治薬科大理事長の奥山徹さん(右)は、100周年記念「日本の薬学研究の第一人者」を以て、100周年を機に、鷹山の名言を座右銘に、山形南高時代に「なせば成る、成らぬは人のなさぬなりけり」という言葉を座右銘として、鷹山の名言を座右銘にした。奥山さんは、鷹山の名言を座右銘にした。奥山さんは、鷹山の名言を座右銘にした。奥山さんは、鷹山の名言を座右銘にした。



鷹山の名言を座右銘にした卒業生たち(奥山さん左から2人目)

「南高祭 すべて生徒の手で」 毎年夏に開かれる「南高祭」は、山形南高の最大行事。前夜祭から始まり、体育祭、文化祭、模擬店、お祭りなど、すべて生徒の手で行われる。奥山さんは、南高祭に参加した。奥山さんは、南高祭に参加した。奥山さんは、南高祭に参加した。

鷹山の名言を座右銘にした卒業生たち(奥山さん左から2人目)

「毎日新聞を通して高校時代の思い出にふける」 浅沼稻次郎暗殺事件・山口二矢の悪夢が呼び起こされる 南高12回卒 奥山 徹

なせば成る 成らぬは人の なさぬなりけり 何事も

毎日新聞東北版が山形県立山形南高の卒業生を紹介するということが、その協力を求められました。取材の予定時間が1時間程度で、しかも大沼敏美・山形南高校長先生からの推薦をいただいていると言われたこともあり、取材の協力を応じることにしました。 中学から高校時代と言えば、約60年前の出来事となります。 早速、毎日新聞社の馬淵晶子記者は私に質問を投げかけ始めます。山形南高を選んだ理由から始まり、高校時代のクラブ活動や学校生活、高校時代の社会情勢等々を思い起こして下さいと畳み掛けられました。更には、思い出の歌手・映画俳優、政治家などを引き合いにしながらの話題へと進みましたが、断片的にしか頭に浮かんできません。私は大学での教育・研究を長く行ってきました、「教育とは、人の持つ諸能力を引き出すこと」と力説してきました。まさしく、馬淵記者は私の頭の片隅から次から次へと何かを引き出し、高校時代を思い起こさせ、「毎日新聞・紙面」の内容となったわけです。



奥山の座右の銘

ここで、母校・山形南高のホームページを話題にします！大沼敏美校長は、学生・卒業生、教職員に対して、ダーウインを引用し「社会の変化に対応できる行動力が必要であ

私は学校法人明治薬科大学の経営指針、並びに入学式・卒業式(学位記)での挨拶の中で、機会あるごとに、上杉鷹山公の「なせば成る」の教えや、山形の山菜草等を紹介しております。鷹山公はウコギの新芽など身の回りの食べられる植物や鯉の養殖等の知恵を民衆に授けました



ごあいさつ
校長 大沼 敏美



本校は昭和16年に旧制中学として創立以来、これまで77年という歴史を重ねてまいりました。校歌の冒頭「ひんがしに あおき蔵王嶺」とあるとおり、本校の東には雄大な蔵王連峰が連なり、今も変わらぬ姿で、ここで学ぶ私たちを励まし続けてくれております。

もうひとつ昔と変わらぬことは、「文武両道」「師弟同行」「質実剛健」を校是に掲げ、勉学は言うに及ばず、生徒会活動や部活動など特別活動にも熱い情熱を傾けていることです。3年生まで部活動に全力を傾けながらも素晴らしい進学実績を残し、県内一の盛り上がりと言われる学園祭、そして多くの部が県を制覇し全国大会に駒を進めるなど、その活躍ぶりは枚挙に暇がありません。さらに、卒業生は2万人を数え、県内はもとより全国で活躍する有為な人材を多数輩出しております。

さて、進化論を唱えたダーウィンは、「この世に生き残る生物は、最も力の強いものでも、最も賢いものでもなく、それは変化に対応できる生物だ。」という考えを示しました。人口減少、科学技術の進歩、そしてグローバル化といった急激な社会変化の中で、自立し、多様な人と協働でき、そして新しい価値を創造できる生徒を育てなければなりません。そのためには、変化を恐れず、教職員が一つになって新しいことにも挑戦してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

る」と述べております。明治薬科大学の広報誌等で表現している Change before you have to (変革せよ。改革を迫られる前に)は、根っこにあるものは同じであると確信しております。

さて、毎日新聞の同じ紙面で「南高祭」が紹介されているように、4日間のイベントがすべて南高生の手作りであるとは驚きです。更に、体

育祭での「騎馬戦や旗取り」は、社会情勢の変化がある中においても、今なお継続しているとは、「質実剛健」そのものと喜んでおります。

実は、私が在校生代表として新入生に語り掛けた「皆さんが入学された山形南高は、県内随一の文武両道の名門校である」と力説した(毎日新聞紙面を参照)、現在に引き継がれているものと身震いしております。

ところで「右翼少年による浅沼稲次郎暗殺事件」が勃発しました。高校2年生の時と記憶しております。浅沼稲次郎社会党委員長が日比谷公会堂での選挙演説中に、17歳の右翼少年の山口二矢に銃剣で刺殺された事件です(1960年・昭和35年)。この事件を契機に、「危険で何を考えているかわからない17歳」と大きな社会問題となり、ことあるごとに責め立てられました。また、「子供に刃物を持たせない運動」の一つ



画像出典：natgeo.nikkeibp.co.jp



として、鉛筆削りや工作用の肥後守りなどへの規制が始まりました。天童市は昔から将棋の駒に関しましては日本一です。東根でも子供の頃から将棋・版面に親しむと共に、印鑑づくり等に夢中になっておりました。とんでもない規制に閉口した記憶があります。

とにかく、私達は健全で真面目な高校生活を送っていることを再確認・アピールしようと、クラス討論会や講演会等を行いました。あの当時は少ない情報の中でしたが、積極的に高校生活をエンジョイする場を盛り上げておりました。

この度は、母校・山形南高時代を思い起こす新たな出会いを作って頂いた大沼敏美山形南高校長先生、並びに「毎日新聞(馬淵晶子記者)」には深く感謝申し上げます。

(学校法人明治薬科大学理事長)

MTBでヒマラヤの麓を走る

南高12回卒 毛利 昭

世界の最貧国ともいわれるネパールに通り始めて26年が経つ。この間、仲間と共にカトマンズ郊外のドリケルなる地域に小学校を建てたのを始めとして、同じ敷地内に中学校と高等学校を建設してきた。今では子供たちの数は400名にも達し、地域の教育力の起点としての役割を担っている。

これまで、ネパールを訪れる度に学校を視察し子供たちを励ましてきた。空いた時間帯は世界遺産に登録されているカトマンズ市街の遺跡を見学したり、エヴェレスト街道やアンナプルナ地区のジョンソン街道に足を運び、ヒマラヤの自然に親しんできた。また、ネパールはインドと陸続きでもあり広大な自然公園なども完備している。そこを、象に乗ってジャングルに分け入るサファリなども楽しんできた。極め付きは、仏教の開祖と言われるブツダの生誕地もネパールの南方にあり、参拝して心身を清めた思い出も残っている。今回は、ネパール支援の最終回として学校を訪ね、その足でジョンソン街道に向かった。学校建設支援を打ち切ったのは支援者の高齢化が主な原因だが、村に預託した学校運営も軌道に乗ったと判断したからであ

る。ジョンソン街道はチベットを源流とするカリ・ガンダキ川沿いに発達してきた街道で、昔は数十頭の駄獣によるキャラバンが往還した街道で風情もあったが、今ではダイナマイトと重機で切り広げられた悪路が続いているのみである。

ムクチナートと呼ばれ、ヒンズー教とチベット仏教両者の聖地付近だけは舗装が施されているが、残りの数百kmは土漠・礫漠で転石の重なる悪路となっている。この地をマウンテンバイク(MTB)で走破しようと思ったのは数年前の事になる。国内でもMTBを駆って通勤に供したり、遠出などに挑んだりして来たが物足りなさが心を支配していた。最近国内にもMTBの専用コースも作られているが、わざわざ出かける程の魅力のある場所は多くは無い。そんな折、ヒマラヤ山麓をMTBで走破する人が増えつつあり、レンタル自転車も充実しているとの情報を入手したからである。

問題は同行者であったが、この様な酔狂な行程に同行してくれる仲間も見つかり今回の決行と成ったわけである。近隣のジムで筋力を鍛え自前のMTBで市街地を走行し訓練に励んだが、敵は思わぬ形となって現れた。それは、ヒマラヤ山麓の高度障害であった。およそ3000mから4000m程の高所を走ると言うのも下りばかりではなく登りもあるのである。ペダルを踏んで転石ダートの坂道を漕ぎ上げれば、脚力より

も酸素不足のために胸が苦しくなり、その場にへたり込む始末となってしまう。それでも土漠・礫漠の悪路を二日間走り、念願の走破は何とか成し遂げることは出来た。前後をランドクルーザーに守られ大名旅行の様なおツアーではあったが、今では、無事に帰還できたことに感謝する日々である。今年で後期高齢者の仲間入りとなったが、この様な挑戦を続ける気持ちに変わりはない。これこそ、南高魂と信じて今後も生きていきたい。



山南トピックス

第94回

箱根駅伝ゴール

優勝 青山学院大学アンカー
橋間貴弥選手(南高65回卒)

橋間選手は山形市出身で、山形南高から同大に進学。アンカーとして走ることは前日に決まったといい、「とても緊張した」と振り返ったが、区間2位のタイムで10区の23キロを快走した。



ゴールの瞬間

YamaNan Topics



山形県知事表敬訪問

(出典 読売新聞)

平成29年度 総会

第一部

平成29年11月4日(土) 14:20 ~アルカディア市ヶ谷にて開催



活動方針・小松副会長



毛利会長挨拶

議事

- 平成28年度活動報告
- 平成28年度収支決算報告並びに会計監査報告
- 平成29年度活動方針
- 平成29年度収支予算
- 平成29年度役員改選



総会風景



監事監査報告



会計報告 鈴木常任幹事

ビジネス交流



大增税時代における相続税や減らさないを考える

大和証券株式会社 専務取締役
相澤淳一氏 (南高 29 回卒)

アラフォー女性の本音と建て前

株式会社都恋堂社長
大場勝一氏 (南高 30 回卒)



平成29年度 総会

懇親会
第二部

平成29年11月4日(土) 15:30～アルカディア市ヶ谷にて開催



開会の挨拶・佐藤常任幹事

- 開会の挨拶
- 物故者に黙祷
- 校歌斉唱
- 東京同窓会 会長挨拶
- 山形南高同窓会会長挨拶
- 山形南高校長挨拶
- ご来賓挨拶
 - 山形県東京事務所長
 - 山形県人東京連合会会長



山形県東京事務所・武田副所長



鈴木同窓会副会長挨拶



山形県人連合会・原田会長



奥山校長挨拶



乾杯のご発声



永久司会の安孫子常任幹事



乾杯！



出席メンバー紹介



応援歌・空はコバルト！



南高柔道部ここにあり！



懇談中

同窓会を思うにあたって

パートⅣ

南高12回卒 加嶋 隆夫

東京同窓会報への寄稿も今回で第四弾目になりました。今年四月に私自身、高貴ならぬ後期高齢者の仲間入りとなり年に一度の寄稿もあと何回できるかなどと考えながら執筆しています。このところ私の同期の方でも亡くなる方が多く無念さと淋しさで浸っている日々です。こうして思い出を共有する皆様方とお会いできる同窓会はお互いが元気で頑張っている証でもあります。

私自身はこの同窓会のスタッフの一員として様々な活動をしています。我々は南高生であると同時に山形県人であり、山形県人連合会の協賛団体として加盟し様々な交流の場に参加、会員発掘に努めています。が会費の増収につなげていないのが現状です。この活動は私のライフワークとして時間かけ継続して頑張っていきたいと思っております。ところで同窓会や県人会においてはこのスタッフの後継問題があります。スタッフの高齢化や運営資金(原資)

の調達など皆苦労しているところで、我が南高東京同窓会会員一人ひとりの支援協力が不可欠です。同窓会は利益を享受する営利団体ではなく親睦団体なわけで先輩も後輩も一緒になって現在、過去、未来を語り合う素晴らしい出会いの場だと思えます。人生の節目においての思い出は心の非常食にもなります。その時辛くても、さみしくても「良い時もあったな」と少し冷静になって乗り切り頑張っていく時間を共有する場であろうと思えます。

さて、私事ですが、つい最近終の棲家を埼玉県和光市に見つけ6月に移住しました。人は皆何かを語るとき、それぞれ時系列に話を紐解きますが、私はキチンと話が出来ませんでした。南高を卒業した昭和三十七年三月以来どの土地にどれ程住んでいたか今振り返り記憶をたどっているところです。最初の住まいが埼玉県草加市、以来千葉市、東京都江東区、そして今回の和光市となります。初めとおしまいが埼玉とは帰趨本能のような感慨を受けているところです。今回引越したところ、片付ける物ひとつひとつに思い出がいっぱいで整理に苦労

してしまいました。自分の生い立ちや生前の母の遺品の数々、また、大学の仲間との記録、社会人となってからのいろんなスナップ写真等は人生七十五年間の生き様を感じます。やはり思い出は消したり失くしたりできないもので、ある種の栄養素のようなもので、いつしかあの人は今何をしているだろうか等、思いに駆られるこの頃です。



やまがた県人まつり

山形県人東京連合会設立80周年記念

山形南高東京同窓会として代表が出席
平成30年9月17日(月・祝)午前11時～
ホテル・ニューオータニ「鶴の間」にて開催



南高生の来賓メンバー



東高会長と共に



山形市長と



佐藤さんと文京区長



来賓の富樫さん、佐藤さん(60回生)も



来賓の奥山さん、村川さんと

菊地真治法律事務所訪問
菊地 真治 弁護士
 (南高38回卒)



東京新橋は日本の弁護士事務所のメッカ。

「敷居の低い弁護士事務所」を謳う菊地真治法律事務所を構えるのは弁護士・菊地真治さん。

山形市薬師町出身の南高38回卒。豊富な実務経験を持つ2名の弁護士と共に、幅広い案件を数多く取り扱っている。

南高では、3年間野球部に所属し、俊足を生かし、中堅手として活躍。高3の夏は、故阿部康雄監督（南高23回）の下、ベスト8まで勝ち進むも、甲子園で3回戦まで進んだ東海大山形に敗れる。

小学校時代は右投げの剛速球投手として活躍するも、ひじを痛めドクターストップ、山形五中では一時、左投げに転向し三番・一塁手として活躍するも金井中に延長13回で惜敗。昭和55年の南高野球部甲子園出場を見て、何としても南高で野球が

したいとの一念で、教師の薦める東高を蹴り、南高入学式では新入生代表挨拶。

南高卒業後は一浪して仙台の予備校に通い、幼き時から、「社会の理不尽さに対処できる力を持ちたい！困っている人の力になりたい！」との思いから弁護士を志し、早稲田大学法学部に合格。上京し文京区小石川にあった山形県育英会学生寮に4年間お世話になる。

大学卒業後は、大学の先輩・故山田有宏先生の法律事務所です事務員としてお世話になりながら司法試験に挑戦し、平成12年、31歳で見事合格。陰で支えていたのは、学生寮で知り合った奥様（山形県温海町出身）です。

現在49歳、川崎市在住、高1を頭に2男1女にも恵まれ、日本弁護士連合会常務理事、東京弁護士会の若手会派の一つである親和全期会の代表幹事を務めるなど活躍。

今後は南高法曹会をリードするとともに、東京同窓会学年幹事として東京同窓会を支えて頂きます。お困りごとはなんでもご相談ください。

訪問者・土田和男（南高25回卒）



親和全期会での出版活動

菊地真治法律事務所

東京都港区西新橋二丁目2番5号
 竹内ビル2階

TEL 03-6205-7557

http://kikuchi.lawyer/jigyougaiyou/



夏の大会の合宿練習



夏の第69回山形大会の開会式の後



センターの守備

YamaNan Topics

山南トピックス

平昌冬季五輪

スノーボード パラレル大回転出場
 斯波正樹選手(南高55回卒)



初の五輪出場。上位16人の決勝には進めなかった。

「日本を沸かせる結果を出すつもりで来たのだったのですが、まだまだですね。選手としては青い」と振り返った。それでも前向きな様子で「僕の強みは諦めないところと挑戦し続けるところ。やれるところまでやりたい」と話した。



(出典 JOC・日刊スポーツ 朝日新聞)

物故者名

(平成29年9月1日～30年9月10日判明分)



(旧職員名)		(在任期間)	
柏倉 壽雄 先生	英語	(S30.4～S42.3)	命日不明

回卒	同窓会員名	
二中1回	東海林 寿一	平成30年1月20日
二中4回	羽角 亘	平成27年命日不明
二中4回	鏡 義弥	平成29年9月2日
二中4回	鈴木 恒男	平成30年2月4日
二中4回	加藤 仁	平成30年5月31日
二中5回	川股 重也	平成30年2月7日
二高2回	鈴木 三郎	平成29年12月5日
南高2回	太田 次矢	平成30年2月15日
南高2回	横山 邦彦	平成30年4月25日
南高2回	三澤 清助	平成30年5月8日
南高3回	佐山 雅映	平成29年11月16日
南高3回	金子 雄一	平成30年1月24日
南高3回	江口 幸一郎	平成30年8月11日
南高4回	杉浦(阿部)弘子	平成30年3月27日
南高4回	山口 賢二	平成30年6月21日
南高4回	斉藤 利貞	平成30年6月29日
南高5回	塩野 汎	平成29年12月16日
南高6回	片桐 正志	平成29年10月3日
南高6回	村形 晋二	平成29年10月21日
南高6回	後藤(押野)礼人	平成29年11月22日
南高6回	高橋(増子)富士雄	平成29年11月23日
南高6回	鈴木 脩平	平成29年12月22日
南高6回	山下 直良	平成30年3月26日
南高6回	横尾 正夫	平成30年6月19日
南高7回	村井 靖夫	平成29年10月17日
南高7回	鈴木 通正	平成29年12月11日
南高7回	竹田 章	平成30年1月19日
南高8回	小山 幸一	平成29年12月17日
南高8回	鈴木 守	平成30年2月

回卒	同窓会員名	
南高9回	鈴木 英雄	平成29年10月22日
南高9回	松田 徳夫	命日不明
南高10回	平尾 真次	平成29年12月11日
南高10回	庄司 雄策	平成30年3月8日
南高11回	高橋 紘一郎	平成30年9月9日
南高11回	庄司 義雄	命日不明
南高12回	関 武	平成29年9月29日
南高12回	長島 克也	平成29年11月6日
南高12回	伊藤 勝士	平成29年12月4日
南高12回	浦山 征一郎	平成30年2月19日
南高12回	中井川 昭男	平成30年3月14日
南高12回	渡辺 秀昭	平成30年4月9日
南高13回	渡辺 矩行	平成26年9月5日
南高13回	寺崎 秀一	平成29年10月3日
南高13回	永田 幸夫	平成29年11月3日
南高13回	小関(名和)主計	平成29年11月5日
南高13回	武田 直邦	平成29年11月5日
南高13回	田中 博信	平成30年5月8日
南高14回	佐藤 邦彦	平成28年10月27日
南高14回	江口 矩雄	平成30年2月
南高14回	遠藤 省平	平成30年2月
南高15回	村川 邦次郎	平成29年11月3日
南高15回	会田 正三	平成29年11月21日
南高16回	阪口 理一郎	平成29年9月30日
南高16回	松田 春洋	平成29年10月21日
南高18回	鈴木 均	平成30年1月12日
南高19回	佐藤 隆	平成30年5月18日
南高19回	柿崎 正二	命日不明
南高44回	柴田 耕平	平成30年4月14日

YamaNan Topics



(出典 山形南高ラグビー部ブログ)



(右写真 毎日新聞)

伊藤大瑛主将 選手宣誓

いつも南高ラグビー部を応援していただきまして誠にありがとうございます。

2017年12月27日より東大阪市花園ラグビー場で全国高等学校ラグビーフットボール大会が行われました。

2年ぶり2度目の出場で、しかもこの度はキャプテンの伊藤君が選手宣誓の大役を仰せ付けられました。

OBの方が宿舍までかけてつけて激励してくださいなど、皆様から多大なるご支援・ご声援頂きましたこと厚く御礼申し上げます。

全国高校ラグビー2017
花園 2回目の出場





- 森谷 亨様(南01) 千場 光男様(南03)
- 吉野 禮三様(南03) 松田 公様(南04)
- 川崎 勝美様(南06) 久連山 幹彦様(南10)
- 斉藤 清様(南10) 加嶋 隆夫様(南12)
- 堺 謙治様(南12) 毛利 昭様(南12)
- 大石 庄一様(南15) 田口 秀二様(南15)
- 小林 秀夫様(南19) 武田 雅貴様(南19)
- 鈴木 淳一様(南25) 松川 裕和様(南28)
- 松原 伸二様(南28) 峯田 淳様(南28)
- 笠原 健様(南34) 庄司 真人様(南40)
- 浅黄 祐樹様(南45)

◇平成29年度にいただいた寄付の内訳

・ 来賓祝い金	50,000円
・ 会員寄付	241,000円
・ 幹事会	8,710円
合計	299,710円

ご寄付をいただいた会員の皆様

平成29年度会計報告

山形南高東京同窓会 平成29年度 収支決算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

< 収入 > (単位: 円)

項目	H29予算額(A)	H29決算額(B)	比較増減(B-A)	摘要
総会費	744,000	388,000	△ 356,000	男性@8,000×49名女性または80歳以上@6,000×2名
年会費	800,000	423,000	△ 377,000	@2,000×211名、学生会員@1,000×1名
寄付金	60,000	299,710	239,710	総会来賓(5名)祝金ほか
広告協賛	110,000	113,000	3,000	一般広告の他に、名刺広告、ホームページのバナー広告が含まれる
雑収入	0	9	9	預金利子
前期繰越金	531,880	531,880	0	
合計	2,245,880	1,755,599	△ 490,281	

< 支出 > (単位: 円)

項目	H29予算額(A)	H29決算額(B)	比較増減(B-A)	摘要
会場使用料	0	0	0	総会会場、来賓控室は懇親会経費に計上
懇親会経費	800,000	473,689	△ 326,311	飲食費、会場使用料等
会議費	10,000	0	△ 10,000	役員会・学年幹事会の会場料等
総会案内経費	430,000	752,781	322,781	会員拡大施策として、会報を同封して送付
議案書印刷経費	0	118,800	118,800	総会案内経費から分計
事務費	65,000	54,009	△ 10,991	消耗品代、郵送運搬費、会報発送料、振込手数料等
東京同窓会会報	130,000	200,600	70,600	
ホームページ制作費	4,500	4,363	△ 137	
活動費	110,000	150,478	40,478	本部同窓会広告協賛、本部総会祝金、東京県人会連合会への参加費補助等
特別積立金への返金	0	0	0	
予備費	0	0	0	
合計	1,549,500	1,754,720	205,220	

次年度繰越(収入合計-支出合計): 879円

篤志家のご寄附のお願い

東京同窓会の活動費のためにご寄附くださる方々を募集しております。郵便局の次の口座までご送金くださいますようお願い申し上げます。

口座名: 山形南高東京同窓会東京支部 口座記号番号: 00110 - 7 - 581420

副所長	山形県東京事務所	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	顧問	顧問	顧問	監事	監事	副会長	副会長	会長		
武田 広幸 (南高34回)		小山 伸治 (南高42回)	庄司 直人 (南高40回)	青木 宏 (南高39回)	菊地 真治 (南高38回)	小林 一三 (南高37回)	山田 健嗣 (南高36回)	高橋 達志 (南高32回)	安孫子 雅敏 (南高29回)	峯田 淳 (南高28回)	村岡 登 (南高25回)	鈴木 淳一 (南高25回)	黒田 治彦 (南高21回)	毛利 昭 (南高12回)	斎藤 常男 (南高5回)	森谷 亨 (南高1回)	安孫子 謙三 (南高28回)	佐藤 守彦 (南高14回)	伊藤 和弘 (南高32回)	土田 和男 (南高25回)	小松 栄三郎 (南高15回)

30・31年度役員紹介

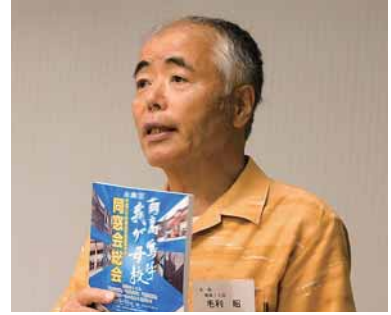
今年度の交流会



乾杯！

日者気払い

6月22日(金) 18:30 ~
アルカディア市ヶ谷にて開催



山形本部同窓会総会報告



ハイチーズ！



流石！応援団長！



空はコバルト～元氣よく！

YamaNan Exchange Meeting

来年度の総会開催のお知らせ

2019年11月2日(土)

14:20 ~

アルカディア市ヶ谷(私学会館)にて

東京都千代田区九段北 4-2-25

電話：03-3261-9921

ご予約をお願いします!!



<http://www.yamanan.jp>
山形南高東京同窓会ホームページ

あしがき
新しい出逢いを広げよう

平成14年に山南東京同窓会が再結成されて16年が経ちます。第1回総会に出席したとき、参集した卒業生たちとお逢いして感動したことが昨日のように思い出されます。その時初めてお逢いした先輩方の中に、現在常任幹事として活躍しておられる佐藤守彦氏(南高14回)がおられました。佐藤氏の人柄に一目惚れした私は、佐藤氏との再会を願っておりましたところ、偶然その後役員となって再会できました。それ以来、ご一緒させて戴いています。

このように同窓会は、新しい同窓生との出逢いの場となります。先輩、後輩が「山南」というブランドで再び出逢う場所になるのです。「山南」のブランドの価値をお互いに知り尽くしていますから、逢ったその日から同じ目標に向かえます。

諸先輩たちの努力で再結成され、今日まで継承されてきた山南東京同窓会の活動を、私たちは若い世代にバトンタッチし、更に盛り上げていかなければなりません。幸い新しい力、新しい風が吹き始めています。これまでの歩みを大切にしながら、若い力を十分に發揮して貰えるような活動を創造していきましょう。そして新しい出逢いが無数に生まれる同窓会にしていきたいでしょう。

小松栄三郎(南高15回)